

立教大学日本学研究所主催  
第52回研究例会

〈異域〉を  
めぐる文学  
〈異域から日本を考える〉

混一疆理歴代国都之図

【日時】 2015年1月31日(土) 13:00～17:00

【会場】 立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館多目的ホール

東アジアを視野に入れた文学・文化・歴史をめぐる議論が近年とくに盛んになっている。そこでは、東アジアのなかでの日本の視座が問われ、文学や史学といった学問領域、中世、近世、近代などの時代領域、作品ジャンルなどを横断した資料の比較検討から、日本を描く歴史叙述を再検討することが、重要課題のひとつとなっている。本例会では、異域(異国、異界、境界)、異国合戦(侵略、国防)をテーマとして、多様な立場からの問題提起と全体議論をとおして、東アジアにおける「日本」像を明らかにしていくことをめざす。

「日持上人の海外布教説とその展開—義経入夷説との比較を通して—」

……………小此木敏明(立正大学非常勤講師)

「蝦夷、琉球をめぐる異国合戦言説の展開と方法」……………目黒将史(日本学術振興会特別研究員)

「『<sup>えつてん</sup>粤甸幽霊集録』における神」……………佐野愛子(明治大学大学院生、日本学術振興会特別研究員)

「福地桜痴の交友と業績」……………丹羽みさと(立教大学兼任講師)

司会・コーディネーター……………鈴木 彰(立教大学文学部教授・日本学研究所員)

【対象】 学生、大学院生、教職員、一般

【主催・問合せ】 立教大学日本学研究所

(nihongaku@grp.rikkyo.ne.jp 03-3985-2617)

予約不要・参加費無料

\*\*\*どなたでもご参加いただけます\*\*\*